

震災後のわが社

～ 被災地再開事業所紹介 ～

株式会社菊池製作所

所在地：相馬郡飯館村

事業内容：精密板金加工、金属機械加工、
プラスチック機械加工等



弊社は、本社を東京都八王子市におき、福島県内には、飯館村の福島工場を拠点に、川内村には川内工場、南相馬市小高区に南相馬工場が稼働している状況にあります。

平成23年3月11日、東日本大震災が発生し、東京電力福島第1原発事故により、平成23年4月に飯館村全村避難となりました。

原発事故が発生した当時は、南相馬市、双葉郡からの住民が飯館村へ避難してきました。南相馬市方面から飯館村までの県道は、避難者の車でものすごい渋滞になり、村内の空き地はほとんど車で埋まってしまいました。

ところが、原発事故後飯館村内においての放射線量が異常に高いことが判明し、村民及び外部からの避難者も、飯館村から避難しなければならない状況となりました。

そうした状況において、3月25日に自主避難がだされ、4月22日には上記のとおり全村避難となりました。

社員の殆どが飯館村民であり、飯館村からの避難を強いられ村外へ移動しました。

その当時工場の稼働について、社長はじめ役員との度重なる検討を踏まえううえで、一定条件の下社員の健康管理を第1として事業継続を行うこととなり、工場稼働のため全社員へ呼びかけをすることとなりました。

震災前は約300名の社員が働いておりましたが、呼びかけにより社員の理解を得ることができまして、最初の頃は約90名の社員が工場へ戻り、日を追うたびに会社へ戻ってくる社員が増え、6ヵ月位で約8割の社員が会社へ戻ってきました。

震災直後は、ガソリン等の物資の調達及び流通の機能回復に苦勞をし、また、飯館村に入ってくる業者さんも減ってしまい、荷物については直接近くの営業所に取りに行ったり、持ち込みなどをして対応を図っておりました。

社員については、約8割の社員が復帰しましたが、震災前の通勤時間が車で片道約10分～20分程度だったものが、震災後の避難先から片道約1時間程度かかってしまうこととなり、そのため疲労の蓄積、メンタル面での問題、避難先での生活環境の変化等により、退職する社員が年々増えてしまい、震災から今日までには、およそ200名近くの社員が退職をいたしました。

また、村内除染作業等のため、作業員の方がピークで8,000人が村へ入ってきてまして、そのための交通量が震災前の約4倍になったこともあり、交通渋滞、交通事故等も多く発生し、振り返ると厳しい環境だったのかなと想うところでございます。

そうしたなか、震災の年の平成23年10月には、ジャスダック市場に上場することとなり、企業体力の強化、会社としての役割を十分発揮できる体制づくりをすることとなりました。

上場については、会社としても震災前からの夢であり、これを達成できたことについては、全社員一同喜びに浸ることができた瞬間ではなかったかと思えます。

そして平成29年3月31日には、飯館村帰村宣言を受け、また新しい出発をすることが出来ました。しかしながら、現在(平成29年10月)においては、約8%程度の帰村者に留まっており、今後の行政活動等を踏まえ、人口増加を期待したいところでございます。

飯館村内においては役場機能、商工会等の行政施設の復活、2017年8月には「いいいたて村の道の駅までい館」がオープンいたしました。学校関係も、幼稚園から中学校までの一貫体制での対応で建設が進められ、少しずつ生活環境も改善されている状況でございます。

震災後の雇用については、近隣地域の新卒高校生、そして中途採用により確保してまいりましたが、地元飯館村出身の学生または中途採用の希望者は、震災後5年間で約5名という状況となっております。

地元採用もかなり厳しい状況であり、現在でも風評の影響が続いているかと感じます。

震災後の福島県内工場については、飯館村内の福島工場に福島第7工場、川内工場、南相馬工場を開設し、各地域において雇用の確保、業務拡大を図ることとなりました。

また、南相馬工場においては、関連会社と共に医療・介護関連ロボット、災害救助ロボット等の試作、開発を行う環境を整えてまいりました。

弊社は、本業を金属、プラスチック等の部品加工、試作品製作、金型製作・加工であります。これからの福島県におけるイノベーションコスト構想と共にロボット開発に力を入れ、福島県から全国、そして全世界へものづくり等における最先端技術の発信を行っていきたくと考えております。

そして、地域経済の発展、地域貢献を踏まえ、地元企業の皆様方と共に情報交換、企業連携を図り、復興から前進へと協力体制を築き、地域社会の発展に寄与してまいりたい所存でございます。

これからも、全社員一丸となり邁進してまいりますので、なお一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。